

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	大津留地区河道安定化対策工詳細設計業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 大分河川国道事務所長 樋口 尚弘 大分県大分市西大道1丁目1番71号
契約年月日	令和 2年 3月 2日
契約業者名	(株) 建設技術研究所
契約業者の住所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契約金額	24,992,000円(税込み)
予定価格	25,311,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業務場所	大分河川国道事務所管内
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 2年 3月 3日
履行期間(至)	令和 2年 9月18日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 大津留地区河道安定化対策工詳細設計業務

2. 履行場所 大分河川国道事務所管内

3. 契約の相手方 住 所： 福岡市中央区大名 2 丁目 4 番 1 2 号
会社名： 建設技術研究所（株）九州支社
電 話： 0 9 2 - 7 1 4 - 2 2 1 1

4. 契約適用法令：会計法第 2 9 条の 3 第 4 項及び
予算決算及び会計令第 1 0 2 条の 4 第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、「大野川水系河川整備計画」に基づき、大津留地区の河床及び堤防の安全性確保を目的に、低水路護岸の検討及び詳細設計を行うものである。

2) 業務の内容

計画準備、基礎資料収集整理、現地踏査、低水路護岸法線の検討、既設べーン工の取り扱い検討、護岸・べーン工詳細設計、関係機関・地元説明資料作成、報告書作成、公開用成果品作成、打合せ合同現地踏査、照査技術者による報告

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低 2 0 者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を 2 5 者が入手（ダウンロード）し、2 者から参加表明書が提出され、2 者が参加資格を有していた。

参加資格を有する 2 者を技術提案書の提出者として選定し、技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に、「実施方針・実施フロー・工程表・その他」の実施手順における実施フローの工夫、工程計画の工夫が記載されていること、及び特定テーマの「大津留地区の最適な低水路法線の検討方法」について、総合的に優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第 2 9 条の 3 第 4 項及び予算決算及び会計令第 1 0 2 条の 4 第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

大分河川国道事務所 調査第一課長